※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 1206 |
|---|---|

# 令和５年度　芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | (学)造形基礎 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術を今まで選択していた生徒、初めて選択する生徒両方とも、共通して進めていける内容に設定する。
・デッサン、色彩、造形、スケッチ、着彩などについて、基本的な内容を実習する。
・ワークシートを用いて知識の理解定着をはかる。

## ２　学習の到達目標

・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め、創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表すことができる。すことができる。
・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
・美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組むことができる。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める。<br>・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。 | 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 | 美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。造形分野の基礎的な学習内容に興味を持ち、自身の生活や進路に生かそうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | グレースケール | ・鉛筆の削り方、明暗の理解 | a:鉛筆の削り方を理解し、筆圧の違いで明暗の表現が可能であるということを理解することができている。<br>b:鉛筆でできうる表現を用いて、作れる作品の構想を練っている。<br>c: 鉛筆による表現を理解し興味を持つ。 | ・作品点<br>・ワークシート | ・作品点<br>・ワークシート | ・学習活動の様子<br>・制作の様子 |
| | 鉛筆デッサン | ・デッサンの基本となるものの見方を、段階を踏んで理解する。<br>形体の把握<br><br>質感や立体感の表現 | a: 表現したいことを伝えるための素描の技能を身に付けている。<br>b:対象を見つめ、デッサンの特性を生かし、形体や構成などを工夫して表現の構想を練っている。<br>c: モデルに対して素直に接し、表現の工夫をしようとする 意欲がある。 | ・作品点<br>・ワークシート | ・作品点<br>・ワークシート | ・学習活動の様子<br>・制作の様子 |
| 2学期 | 静物デッサン | デッサンの基本となるものの見方を、段階を踏んで理解する。<br>形体の把握<br><br>質感や立体感の表現 | a: 表現したいことを伝える ための素描の技能を身に付けている。<br>b:対象内面を見つめ、デッサンの特性を生かし、形体や構成などを工夫して表現の構想を練っている。<br>c: モデルに対して素直に接し、表現の工夫をしようとする 意欲がある。 | ・作品点<br>・ワークシート | ・作品点<br>・ワークシート | ・学習活動の様子<br>・制作の様子 |
| | 「ハイコントラスト」 | 有彩色二色での明暗の表現を学ぶ | a: 色見本通りに混色ができ丁寧な着色表現ができている。<br>b:写真をイラスト化していく工程で、明度を分解し、色彩の特性を生かした３色を効果的に構成している。<br>c:写真のコントラストを利用した色分解で意欲的に制作できている。 | ・作品点<br>・ワークシート | ・作品点<br>・ワークシート | ・学習活動の様子<br>・制作の様子 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ３学期 | 紙を使った立体造形 | ・紙を使って基本的な幾何形体をつくり、立体構成する。 | a: 紙の特性を駆使し、折り目や切り方を工夫しながら制作できている。<br>b:個性的なデザイン・造形を表現ができている。<br>c:紙立体の表現に興味を持ち、意欲的に作業を行う工程を学ぶ。 | ・作品点<br>・ワークシート | ・作品点<br>・ワークシート | ・学習活動の様子<br>・制作の様子 |
| | 粘土による立体造形 | ・粘土を使い、立体の基本に基づいて自由な発想で立体構成する。 | a: 粘土の特性を駆使し、量感や質感を工夫しながら制作できている。<br>b:個性的なデザイン・造形を表現ができている。<br>c:粘土立体の表現に興味を持ち、意欲的に作業を行う工程を学ぶ。 | ・作品点<br>・ワークシート | ・作品点<br>・ワークシート | ・学習活動の様子<br>・制作の様子 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度